

日ASEAN首脳会議議長声明（骨子）

平成26年11月12日

- 日ASEANバリ行動計画（2011～15年）、特別首脳会議で採択された友好と協力のビジョンステートメント及び共同声明に基づいた協力の進捗を歓迎。
- ASEAN+3、ARF、EAS、ASEAN拡大防衛相会合等、日本のASEANの枠組みへの積極的な貢献を評価。日ASEAN防衛大臣ラウンドテーブルの開催を歓迎。
- 日本の「積極的平和主義」を歓迎。安倍総理の「海における法の支配の三原則」に留意。
- 国連海洋法条約を含む国際法の原則に基づいた紛争の平和的解決の重要性を再確認。南シナ海の紛争は、武力の行使に訴えることなく、自制及び一方的行為を含む状況を複雑化させる行為の回避により、平和的に対処されるべきとの認識を共有。南シナ海に関する行動宣言（DOC）の完全かつ効果的な履行を強調し、南シナ海における行動規範（COC）の早期妥結のための実質的協議の継続を要請。
- 「テロ及び国境を越える犯罪対策共同宣言」の採択を歓迎。
- 官民の対話、中小企業協力等経済面での協力を歓迎。AJCEP投資・サービス章妥結に向けた前進を歓迎。RCEP交渉の妥結を期待。
- 日メコン協力等、域内格差是正に対する協力の継続を期待。
- 日ASEAN航空協定等、交通分野での協力の進展、日本による連結性支援、官民連携（PPP）の促進を評価。
- 防災面で更なる協力を要請。
- 青少年交流、文化交流を重視し、日本の貢献を評価。
- 「日ASEAN健康イニシアティブ」を評価。
- 低炭素成長、エネルギー安全保障のための技術の共有を期待。高効率石炭火力発電を重視。
- 朝鮮半島の平和、安全、安定の維持の重要性を認識し、六者会合の早期再開を含む平和的な対話を通じた非核化を要請。北朝鮮による弾道ミサイル発射を懸念。安保理決議や六者会合共同声明の完全な履行を支持。拉致問題を含む人道上の懸念を強調。